

避難計画も作れない

東海第2原発の
再稼働をさせないために
茨城の超党派議員連盟へ
ぜひご参加を！

東海第2原発の再稼働に反対する茨城県自治体議員連盟 第3回総会・記念講演会・交流会

日時：2016年5月17日（火）16：30 開始

会場：水戸駅ビル6階・エクセルホール（水戸市宮町1-1-1 Tel029-231-7711）

<総 会> 16：30～17：20

経過報告・活動方針・役員改選について

<記念講演会> 17：30～19：00

演 題：エネルギーデモクラシー

ー私たちの選択が未来を創るー

講 師：飯田哲也さん

（環境エネルギー政策研究所所長）

参加費：1,000円

<交 流 会> 19：10～20：40

参加費：5,000円

*会場準備の都合上、5月13日（金）まで
にお申し込みください。

お問い合わせ・お申込み

玉造順一（事務局担当）

TEL 029（303）1255

FAX 029（303）1260

E-mail jtama@sdp.or.jp



講師 飯田哲也さん

<略歴>

1959年山口県生まれ。京都大学工学部原子核工学科、東京大学大学院先端科学技術研究センター博士課程単位取得退学。NPO法人環境エネルギー政策研究所所長。日本の自然エネルギー市場における先駆者として国内外で活躍。内閣官房原子力事故再発防止顧問会議委員、大阪府・市特別顧問などを歴任。『エネルギー進化論：「第4の革命」が日本を変える』（ちくま新書）など著書多数。

「東海第2原発の再稼働に反対する茨城県自治体議員連盟」呼びかけ文

私たち「東海第2原発の再稼働に反対する茨城県自治体議員連盟」（略称「東海第2反対議連」）は、東京電力福島第一原発事故の現実を踏まえ、特に危険性の高い老朽原発である日本原電東海第2発電所の再稼働に反対し、その一日も早い廃炉を実現するために結成した。

福島第一原発事故後、住民の中に広範に生まれた原発への不安を受け止め、また、避難計画の策定などを含め、自治体として原発への基本的な立場を明確にするためにも、東海第2原発が立地する茨城の地方政治に関わる立場として、しっかりとした論議と政策選択を行うべきと考える。東海第2原発の問題は優れて地方自治の問題であり、自治体議員相互の連携を強め、情報交換や議論を活発に行うことで、それぞれの議会における政策論議を積極的にリードしていく必要がある。

私たちは、東日本大震災での東海第2原発の危機を忘れない。2011年3月11日、東海村は震度6弱の激しい揺れに見舞われ、東海第2原発の沸騰水型軽水炉の運転は自動停止した。地震により周辺の変電所は機能不全に陥り、外部電源は全て失われた。さらに高さ5.4mの津波が東海第2原発を襲い、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機3台のうち1台が停止した。その後数日間にわたって冷却不十分な状態が続き、170回もの逃し安全弁操作が行われるという、まさに危機的状況に陥っていた。

そもそも1978年11月に運転を開始した東海第2原発は、35年が経過する老朽原発である。設計上の耐用年数が40年であることに加え、大量の使用済み核燃料を抱えている危険性がある。ドイツでは、東電福島第一原発事故を受けて、全17基の原子炉を全て停止させ、最も危険度の高いと判断された8基をそのまま廃炉と決定した。事故当事国であるわが国では、最早あらゆる意味で「安全神話」は成り立たない。何よりも住民を放射能汚染の脅威から守るべく、一日も早い危険炉の廃炉を実現するため、政治的・経済的・住民合意のあり方を含めて具体的な検討を前に進めなければならない。

私たち「東海第2原発の再稼働に反対する茨城県自治体議員連盟」は、広く県内自治体議員の皆様に参加を呼びかける。

2014年5月27日

加入申込書

私は、会の趣旨に賛同し、年会費1,000円を添えて東海第2反対議連に入会します。

名 前		議会名	
住 所	〒		
電話番号		メールアドレス (または FAX)	